磐田南高校　進学指導の基本姿勢

…将来、社会に貢献する磐南生になるために…

磐田南高校進路課

１　３年生の最後の最後まで学習を続け、将来、社会に貢献できる学力、人間力をつける。

磐田南高校は、静岡県内有数の進学校です。卒業生のほとんど全員が４年制大学に進学します。近隣にもこうした進学校はありますが、磐南のすごいところは、実は次の点にあります。大学入学共通テスト（旧大学入試センター試験）（１月）をほとんどの３年生（99%）が受験し、さらに、多くの生徒（約 90%）が全教科（国数英理社）を受験します。

なぜ、このことがすごいかと言うと、私立大学の入試は３教科ですんでしまい、国数英理社の５教科をすべて勉強する必要がありません。つまり、私立型の受験生は早期（８月頃）に、３教科に絞って学習をしてしまうのです。さらに、指定校推薦や総合型選抜というのがあり、それらは８月から 11 月頃に合否が出ますので、そうした生徒は、そもそも受験勉強すらしなくなってしまいます。磐南生は苦手な科目もあきらめず最後まで取り組みます。

令和３年度入試から大学入試制度が変わりましたが、磐南の授業をきちんと受けていけば、恐るるには足りません。各教科ではすでに新制度への対応を踏まえた授業を始めています。さらに、多面的評価に対しても、「探究ノート」などを活用し記録を進める指導を行っています。

２　受験勉強＝人間的な成長

磐南では、3 年の 12 月までに合格が決まる入試形態（指定校推薦・総合型選抜（AO））は勧めていません。なぜかと言うと、学力というのは 12 月、１月以降に急激に伸びると考えているからです。高校３年生が受験勉強を始めるのが６月頃ですが、それから直線的に右上がりに上昇するのではなく、曲線を描くように 12 月頃から急激に伸びるのです。また、受験勉強＝人間的な成長と考えていますので、秋の終わりに合格が決まり、勉強をやめてしまうのはもったいないのです。

受験勉強というのは、知識や理解力、思考力、表現力などを養うとともに、目標を立て、地道に努力を積み重ねる持続力や計画性など様々な力が培われます。また、試験の重圧に耐える精神力などもそうです。だから受験勉強＝人間的な成長なのです。もちろん学力が高ければ人間として優れているということではありませんが、受験勉強を通して人間的に成長するのです。２月末の国公立大の受験を終え、卒業式に臨む磐南生は全員一回り成長した大人の表情をしています。

３　文武両道を基本として授業を中心にした学校生活を送り、自らを鍛える。

校訓のひとつ「文武両道」の理念のもと、磐南では部活動に全力で取り組ませています。部活動を通して培われる体力・精神力も、将来、社会でリーダーとして活躍する磐南生には大切なことです。部活動だけでなく、学校行事などすべてに全力で取り組むことも奨励しています。6 月の文化祭「はぐま祭」や 10 月の体育大会などにも磐南生は全力で取り組み、また楽しんでいます。

しかし、学校生活の基本は何と言っても「授業」ですので、それを最大限有効なものにするには「予習－授業－復習」というサイクルは欠かせません。家庭学習においてその「予習」と「復習」がしっかりできることが大切です。ですから、学習塾や予備校の利用も、部活動と予習・復習の家庭学習がしっかりできることを前提として考えてもらいたいと思います。予習・復習もできないのに塾の授業を受けることは本末転倒なのです。これは、３年生になってからの受験勉強のときにも言えることです。磐南の授業を中心に受験勉強を進めていけば志望校に合格できます。

入学から卒業まで、磐南の授業を核にして徹底的に勉強し、部活動や学校行事などを通じ自らを鍛え、学力とともに人間的にも成長して、将来リーダーとして世のため人のために活躍してくれることを願っています。